会議の概要

云哉り恢安	
会議の名称	あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会
開催日時	令和5年8月7日(月) 午後2時
開催場所	あま市役所 2階 A会議室
議題	(1) 第8期あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗 状況について (2) 第9期あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の ための現状分析について (3) その他
会議資料	1. 次第 2. あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員名簿 3. 資料1「あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画施策 実施状況評価」 4. 資料2「第9期 あま市高齢者福祉計画・介護保険事業 計画策定のための現況分析報告」
公開・非公開の別 (非公開の場合はそ の理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	なし
出席委員	牧村順一 木全 克己 梅屋 崇 渡邉 剛 笹山 聡 飯田 敏勝 井村なを子 谷川 輝純 濱島 玲子 立松 愛唯 坂本 奈津子 杉本 吉之 服部 章平 長谷川真二 後藤 幸元
欠席委員	下方 辰幸 覺前 淳
事務局	高齢福祉課長 菱田 基 久 主 幹 中井 基 人 課 長 補 佐 林 繁 子、岩 間 正 至 係 長 田 中 まさみ、杉 本 仁 美、 水 野 悦 子、住 田 淳 美 保険医療課係長 植 田 弥 生 健康推進課主査 宗 宮 麻 実 Next-i 株式会社 菅 沼 剛 樹

議事内容

(
事務局	本日は、ご多忙のところ、あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策 定委員会にご出席賜り、ありがとうございます。 ご案内の時間がまいりましたので、只今より始めさせていただきます。
	今回の策定委員会は『あま市審議会等の会議の公開に関する要綱』第3 条に基づき公開で開催いたします。また、同要綱第7条に基づき、本日の 策定委員会終了後、会議録を作成し、市公式ウェブサイトへ会議録を掲載 することとなっておりますのでご承知おきください。
	なお、本日下方委員、覺前委員におかれましては、欠席のご連絡がございましたので、報告させていただきます。
	それでは、はじめに、市長よりご挨拶を申し上げます。
市長	あいさつ
事務局	ありがとうございました。
	まず初めに、資料の確認をおねがいします。 1. 次第 2. あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員名簿 3. 資料 1 4. 資料 2 の4点でございます。 続きまして、今回、新たに委員になられた方もお見えですので、委員の皆様の紹介をさせていただきます。 なお、委員の任期は、『あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会要綱』により、計画の策定が完了するまでとなっておりますので、よろしくお願いします。
	学識経験者といたしまして
	同朋大学社会福祉学部特任准教授 牧村 委員
	牧村委員には当委員会の委員長に就任していただいております。
	元 日本福祉大学准教授
	あま市レクリエーション協会会長 木全 委員
	関係機関又は団体の代表者といたしまして
	^{うめや} 市民病院管理者 梅屋 委員

歯科医師連絡協議会代表

_{わたなべ} 渡 邉 委員

薬剤師会代表

ささやま 笹 山 委員

海部医療圏在宅医療介護連携支援センター長

いいだ 飯田 委員

女性の会会長 濱島 委員

ボランティアセンター運営委員会委員長 立 松 委員

居宅介護支援事業者代表 ちかもと 坂 本委員

 シルバー人材センター会長

社会福祉協議会会長 服 部 委員

行政関係職員としまして

福祉部長後藤委員

でございます。

事務局といたしまして、高齢福祉課長のわたくし菱田、主幹の中井、課長補佐の林、課長補佐の岩間、係長の田中、係長の杉本、係長の水野、係長の住田、保険医療課係長の植田、健康推進課主査の宗宮でございます。

なお、本日、この委員会におきましては、あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画作成を委託しております、Next-i 株式会社 菅沼氏を同席させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

続きまして、議事に入らせていただきます。議事の進行を牧村委員長に お願いいたします。

委員長	それでは、議事の進行をさせていただきます。
安貝文 	てれては、職事の進行をさせていたださまり。
	 「議題(1)第8期あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状
	況について」を議題とします。
	事務局から説明をお願いします。
事務局	内容説明
委員長	はい、ありがとうございました。
	それでは、説明が今終わりましたので、質疑に入りたいと思います。
	資料の中身は膨大でございますので、今の説明と合わせながら、皆さん
	の方で、どういう風にしたいか、あるいはこのように考えたらどうだろう、
	など何かご意見がございますか。
委 員	5ページの下からから4番目ですが、高齢者保険事業と介護予防の一体
	的実施についてです。
	表を見ると多くの事業が様々な課で行っていることが書いてあります。
	これらの事業を3つの課が連携しているとも書いてあります。
	ぜひとも、こういう課題を、活動の場もどんどん広がりますので、積極
	的にこれからも取り組んでいただけたらと思いました。
委員長	ありがとうございました。
	今のご発言は今後の事業への激励の言葉でございましたので、お受けい
	ただければと思います。
事務局	ありがとうございました。
	この事業は、後期高齢者医療の医療保険の担当課と介護予防の担当課、
	健康推進、それぞれの課がそれぞれの立場で、あま市の高齢者の健康寿命
	を延伸していく目的で開始されたものになりますので、今後、さらに啓発
	と実施を推進していきたいと思っております。
委員長	そのほか、いかがでございましたか。お願いします。
委 員	地域ケア会議の推進という事で、地域課題や資源の把握、高齢者支援に
	関する事例検討を行うとあります。
	若干、福祉に関する全体的な効果が出ておりますが、最近、お話をした
	のですが、障害に関わる方々の投票率が悪いです。
	普通の人に対して、投票率が45%くらいですが、これを一つの問題とし
	て、どういう形で啓発して、あるいは納得させるか。
	あるいは行政そのものがどういう形で参画を促していくかということ
	に関して、ここに項目はありませんので、根底には何か表現できるものは
	ないかと思っています。
委員長	ありがとうございました。
	障害者をはじめとしたハンデを持つ人々の、実際の各種選挙に関しての
	投票率というのは、健常者に比べて低いという事実が報道等で明らかにな
	っています。
	本市でその辺りのことについて、何か考えることはないだろうかという

	建設的なご意見ということだと思います。
	これは選挙管理委員会も絡む話ではありますので、事務局の方からすぐ
	にこういう風に考えるとお答えするのは難しいかと思うのですが、方向性
	みたいなことだけでも言える範囲で結構ですので、何か一言いただけたら
	と思います。
事務局	課としての方向は難しいところがありますが、ちょうど今年は障害者福
	祉計画の策定年になっておりますので、そのあたりと情報を共有しなが
	ら、何か良いアイディアはないかということで進めていきたいと思いま
	す。
委 員	やはりそれに関する方向性を、活字で「こういう意識がある」、あるい
	は「こういう方向性で進んでいく」というものを明示してもらわないと、
	また2年後、3年後になってしまうかもしれない。
	弱いものはいつまでも弱いものという表現にさせてはいけないという
	ことを思っています。
委員長	そういう危惧を持ちつつ、今ご発言いただきましたので、今すぐにどう
	こうというふうには確かに難しいかと思いますので、そのあたり少し持ち
	帰っていただいて、少し協議いただき、その上で次回の委員会までに、あ
	の時のご指摘についてはこのように考えるということで、まとめていただ
	けたらと思いますが、よろしいでございますか。
	それでは、その他何かご質問でございますか。
 委 員	認知症のご説明があったと思うのですが、サポーター養成講座の拡充や
Z A	認知度を上げたいというような事業は、ある程度できた、十分できたとい
	う評価をされていたかと思いますが、もう一つの資料を確認させていただ
	きますと、認知度は知らないという方がかなり多いようにあります。
	こちら 17 ページのアンケートのまとめのところです。それを拝見させ
	ていただくと、事業ができたという認識に対して、相談窓口の認知度であ
	ったり、そういった方の認知度はまだまだ低いのかなと思います。
	今後、計画に対してその評価が、やったことというよりは、どれくらい
	知っていただけたかという指標があったほうが、ずれがないのかなと感じ
	ました。
	だから、こちらから伝えることも大事ですけど、伝わったかどうか、知
	っていただけたかどうかというところが大事だと思います。
	参加した人数が、実施した回数に対して参加者がこれだけいるというの
	はすごいことだと思いますが、一般の方々や高齢者の中で、どれくらいの
	方がその存在を知っていて、気軽に日ごろ相談できたりとか、サポートを
	受けられるような環境づくりというところを考えますと、ちょっとそこの
	ずれを今後なくしていっていただけたらいいと感じました。
委員長	はい、ありがとうございました。
	はい、ありがとうございました。 今のご意見に関して何か一言言ってもらえますでしょうか。
委員長 事務局	はい、ありがとうございました。

	というところに主眼が今まで置いてきたところがございます。
	ただ、アンケートというのも開催前と開催した後で同じアンケートを取
	って、どう変わったかを見ていますので、そういうところを表に出しなが
	ら、こういったところで発表できればいいのかなというふうに考えまし
	た。ありがとうございました。
委員長	ありがとうございました。
	そういう具体的なデータにこだわるというのは、非常に大事なことだと
	事務局も認識されているというのがよくわかるというお話だったと思い
	ます。
	では、そのほかはありますか。
委 員	地域ケア会議についてご提案をさせていただきたいと思います。
	教育委員会のほうでスポーツ推進計画ができあがって、今年からいかに
	実施していくかという方向になっています。
	現在、5ページを見ていただくと、健康推進課のほうで一番右端に、様々
	な企業が展開していただいていますけれども、実はスポーツ活動の中で
	70、80、90 の方でも、インディアカ、ビーチボール、ビーチバレーを実際
	に健康維持増進でやっておられます。
	この地域ケア会議のメンバーの中に、そういうスポーツ推進の担当の方
	も入れていただいて、協力の枠を広げていただけたらどうかと思います。
	お願いします。
委員長	ありがとうございました。
	今のご意見については、いかがでございましょうか。
事務局	貴重なご意見ありがとうございました。
	あま市としましても、スポーツの推進計画も策定されたというところ
	で、高齢の方だったり、健康推進課、保険医療課も含めて、そちらの計画
	づくりには携わらせていただいている中で、やはりそういった健康づくり
	にスポーツというものも、介護予防だったり健康づくりにしているときに
	は必要なことだと、各課で認識を深めております。
	委員が言われたとおり、地域ケア会議のほうで、今まではやはり介護と
	医療の連携が中心ではありましたが、今後は予防の面でも考えていきます
	と、地域の方を含めた関係課も、そういった意味ではもう少し分野を広げ
	て参画しながら、いろんな角度からご意見をいただきながら、ネットワー
	クづくりと課題の把握等していく必要があると感じていたところでした
	ので、そのようにご意見をいただきましたので、今後はそのように参加者
	も検討していきたいと思います。ありがとうございました。
委員長	ありがとうございました。委員の発言は後押しになったと感じました。
委 員	老人会で、自治会単位のクラブにとらわれず地域の特性を備えた、とい
	うような文言を書いてございますが、一つの単体の団体は市の方で決めら
	れております。30 名以上が一つのクラブとして認めていただけるというこ
	とでございます。
	ところが最近、一番右の下方にあります、会員数を見ていただけるとわ

かりますが、会員数がどんどん減っております。 というのは、やはり60代もしくは70代の方でも現役で仕事がしている ので、老人会で遊ぶ余裕はないというようなことを言われまして、なかな か新しく若い人が会員になっていただけないということが現状でござい ます。 それで、補助金のこともありますが、一応30名以上であると一つのク ラブとして認めていただいておりますが、今現在あちらこちらで 30 名ギ リギリです。 以前、高齢福祉課の方とも、29名ではいけないのか、補助金は出ないの かというお話もさせていただいたことがあるのですが、あま市の方として は30名というのが最低ラインでそれでやっているということです。 けれども、県の方を見ますとおおむね30名で一つのクラブ、というよ うな文言もあります。 もう一つ、補助金の使用の仕方について、いろいろあま市の制約がござ いまして、そこら辺のところが、どの程度、どのような風にすれば補助金 を使わせていただけるのか、明白ではございません。 いろいろ高齢福祉課の方とお話しして、場合、使う名目によってはいい でしょうとか、これはだめだというような指導はされておりますが、そこ ら辺のところがちょっと明白ではないということもあります。 先ほど言いましたように会員が減ってきておりますから、もう少し会員 を増やせるような活動をしないといけないと思っているところでござい ますが、もう少し、一つのクラブとしても、30名という線を、今年はもう 決まっていますが、来年度以降に関して考えていただければというのが、 老人会からの要望でございます。よろしくお願いします。 委員長 はい、ありがとうございました。老人会からの要望だということで、今 ご発言いただいたわけでありますが、これはどうでしょう、今すぐお答え できることはできますでしょうか。 ご要望としてこの場でおっしゃっていただいたということで、きちんと 事務局 情報共有をしていきたいと思っています。 基準に関しましては、なかなか簡単に変えることは、はっきり言ってで きないと思います。ただ、現状もありますし、周辺の自治体、県の要望も おおむねというふうにおっしゃられましたけれども、周辺自治体などの状 況も踏まえて、検討課題ということにしたいと思いますので、お預かりを させていただくということでお願いいたします。 はい、ありがとうございました。 委員長 委員 委員が言われました大事なことは、やはり色々な分野を思いながら、ス ポーツの大切さということを、特にこれは強調した分野ですから、内容を 聞いてほしいと思います。 また、この特に5ページのところでの口腔、栄養、うつや、フレイル予 防というところも書いてありますが、ここが重要な気がします。 それと、今度、7ページのところですが、感染症対策という風にこうい

	う問題を見ながら、ポストコロナの新たな問題として、今、高齢者になっ たからどうぞというわけではなく、むしろ我々が気をつけないといけない
	とおもいます。
	こねもいます。 ただ、行政が言わないからいいのではなくて、政治的な意味合いの発信
	をしないといけないと、私は思っています。
	市民のための感染症対策というものを、もう一度こういう形で、日常の
	中に、定着・取り組まないといけないということを思います。感染症に対したと思います。感染症に対したと思います。
 ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩	する取り組みをどのように考えているのか、お聞きしたいと思います。
委員長 	はい、ありがとうございました。
	主な発言は、スポーツというものをもっと大事にすべきで、それを文言
	的な形で、木全委員の発言と合わせてということと、もう一つは感染症対
	策ということについて、今一度明確に打ち出すべきではないのか、こうい
	うご提言ということでありますが、これに関して全般的で結構ですので、
-1-2h	事務局のほうから何か一言お願いしたいと思います。
事務局	スポーツの方は先ほどありましたが、スポーツの担当課の計画と整合性
	を合わせていきたいと思っております。また今回9期の計画で、介護予防
	のところに、そういったスポーツ課の計画と情報共有する中で文言的なも
	のも入れていけるように検討させていただきたいと思います。
委員長	はい、ありがとうございました。
	感染症対策ということについては、既に記載はされていますが、それを
	前提としてお願いします。
事務局	これでⅡ類からⅤ類になったというということではありますが、完全に
	なくなったわけではないですし、ずっと気を付けていかないといけないこ
	とにはなりますので、そこの部分関しては残しつつという形で進めていき
	たいと思っております。
委員長	はい、ありがとうございました。
	皆さん活発にご意見いただき、ご質問いただきまして、時間も過ぎてま
	いりました。
	もう一つ議題がありますので、このあたりで議題1については終了とい
	うことでしたいと思います。
	皆さんから頂いたご意見に関しましては、事務局の方で寝かせていただ
	いて、関係者・関係機関と協議するなどして、次回の委員会で報告できる
	ものは報告していただくということで整理していきたいと思います。どう
	ぞよろしくお願いいたします。
	それでは、議題の第9期あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定
	のための現状分析について、引き続き、ご説明お願いいたします。
事務局	資料に沿って説明
委員長	はい、ありがとうございました。
	では、説明が終わりましたので、質疑に入っていきたいと思います。先
	ほど説明をいただきました現状分析につきまして、何かご意見・ご質問な
	どございますか。

委員

最後のところの地域における支え合いや地域活動について、私どもは NPO 法人で支援活動センターを委託運営させていただいております。

非常に多くのシニアの方が市民活動に参画していらして、また、コミュニティも設立しています。

ここのところ、お祭りが復活して、私もいろんなお祭りに出かけさせていただきましたが、本当にシニアの皆さんが生き生きと運営をされている姿を見ておりますと、やっぱりそういった年代の方が100年時代ということで、年齢が少しずつ高くなっても、結構やれることがあると思います。

頻繁に市民活動センターにお越しになる方々の中では、80代の方も入っていらっしゃいます。でも、本当に頑張ってやられていますので、そういった方々にもつながりづくりが必要です。

今、市民活動センターも2カ所ですので、我々もできる限りお見えになった方々に対応できるようにはさせてもらっていますが、先ほどの移動が難しいという状況を考えますと、やはり我々がアウトリーチして地域の方に行ってサポートしたり、お悩み事を聞いたり、コーディネートしたり、そういったことも今後お考えいただけたら非常にありがたいなと思っています。

今後、市民活動センターも七宝公民館も移転が決まっておりますので、少しそこに行くのが困難なエリアも出てきますし、そういったところにアウトリーチができたり、若い人ですと結構 SNS とかで発信するとパッと反応があるんですけれども、なかなかオンラインが難しい年代の方々でもありますので、そういったところを少し今後お検討いただいて、もっともっと地域活動に参加する方々、高齢の方々を増やして、地域資源として活躍をいただきたいなというふうに感じました。

委員長

はい、ありがとうございました。

貴重なご意見、地域の現状ということを踏まえた形で、そうした活動を するシニアの、こういう人たちの存在というものも大事にしてほしいとい うご意見だと思います。

委 員

18ページの医療と介護の連携強化のところで、よく引きあいに出るというのか、「顔が見える環境づくり」とあるが、これは実際何を言っているのでしょうか。現場ではどうすればいいのかということの方向性、あるいはご意見を聞きたいと思います。

また次の地域包括センターの機能強化について、知らないと回答した割合が3年前に比べて、増加しているとあります。介護から重層的な支援を地域包括センターに求められています。これは言葉としては重層的な支援ですけれども、これをどのように考えて、あるいはどうやって実行されていきたいのかというようなことを思いました。

また、感想としては、21ページの「地域で活躍できる介護リーダーの養成」ということに取り組んでいくことも必要であり、取り組んでいきますという言葉がありますが、これを実施してほしいと思いました。

23 ページのところでは心のケアということもおっしゃってみえました

	が、非常にいい言葉で、そういう言葉をうまく計画の中で表現をしていた
	だくといいと思いました。
	また25ページのところの図表の中に、「かかりつけ医や訪問看護など地
	域医療体制を充実する」とありますが、アンケートにはかかりつけ医、あ
	るいはかかりつけ歯科医、かかりつけ薬局もあるという文言をこれから入
	れて調査をやってほしいと思いました。
委員長	はい、ありがとうございました。
	ご意見のご質問が多岐にわたりますので、全てにわたって、一つ一つ今
	のところでとはならないと思いますが、今ご指摘いただいた点につきまし
	て、事務局として受け止めていただいて、少しその中についてご返答いた
	だくということで、よろしいでしょうか。
	コメントを是非にということでございましたので、全般的なことでも結
	構ですので、少し事務局としてお話しいただけたらと思います。ではお願
	いいたします。
事務局	貴重なご意見ありがとうございました。
	今回につきましては、アンケートのほうから課題として挙げさせていた
	だいたものになりますので、ここから市の施策としてどのように対応して
	いくかというのを、この先の案の中でお示しがしていければと思っており
	ます。
委員長	はい、ありがとうございました。
	現状分析報告ということでございますので、課題はここにある、市は市
	としてこの点についてはちゃんと認識しておく、こういう表明でもありま
	すが、今後どうしていくかということについては、共に考えていくという
	ことも、この委員会としても求められると、感じております。
	予定の時間が少し回りましたが、この議題2について、何かその他にご
	意見で、これはぜひ聞いておきたいということがあればと思いますが、よ
	ろしいでしょうか。
委 員	今後の計画の作成に対する質問ですが、第8期の進捗状況を拝見して、
	本当に施策がたくさんあり、たくさん頑張っていらしてすごいと思うので
	すが、この施策の柱や施策番号がたくさんありすぎて、実際に本当に目指
	している、例えば最近でいうところの KGI、ゴールを目指しているかどう
	かがちょっと分かりにくくなっていると思います。第9期のこれから作成
	する計画について、ゴールの明確な設定と、それに向かった施策が必要だ
	と思います。今までなされてきた事業がたくさんあると思いますが、これ
	から今までなされていたものとどういうふうに住み分けていくのか、どう
	いうふうに進めていくのかを教えていただきたいと思います。
委員長	はい、ありがとうございました。では今のご質問に関して、少しコメン
	トの形でご回答いただけたらと思います。
事務局	大きな柱としましては、認知症の施策、それと介護予防を重点的にとい
	うふうに考えており、これからやっていくということは非常に重要なこと
	だと考えていますので、それを柱として第9期の計画を策定していきたい

	と思っています。
委員長	はい、ありがとうございました。
	まだこのあたりにお話があろうかと思いますが、委員会は今日とおしま
	いというわけではございませんので、これから中身を詰めていく、そうい
	う箇所でありますので、今のご意見等をご参考にいただきながら、少し事
	務局の方で練っていただくという、そういうご時間もあると思いますの
	で、よろしくお願いいたします。
	十分熱心に時間をかけて皆さん方、様々なご意見、それからご質問いた
	だきました。また事務局の方も、すぐに答えられるものについてはお答え
	いただくとともに、持ち帰って検討を要するものについてはそれぞれ切り
	分けをしながらお聞きいただいて、考えていただいたというふうに思いま
	す。大変熱心にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。
	それでは、議題につきましては以上といたしまして、その他に入りたい
	と思います。事務局からお願いいたします。
事務局	次回の策定委員会についてご説明いたします。
	次回の策定委員会は 10 月 5 日木曜日午後 2 時から、本日と同じA会議
	室にて行います。7月10日に国から基本指針が示されており、基本指針
	に沿った形で策定をいたします骨子案につきまして、委員の皆様にはご意
	見を頂戴したく思っておりますので、よろしくお願いいたします。
委員長	はい、ありがとうございました。
	10月にいよいよ、骨子が私たちに提示をされ、そしてそれについて議論
	するということになります。
	それでは、以上で、本日の『あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
	策定委員会』を閉会いたします。
	ありがとうございました。